

ホットな消費者 News

消費者問題の事例対処法を解説します。

太陽光発電システムの点検商法にご注意

事業者から「太陽光パネルの点検が法律で義務化されたので、無料で点検します」と言われ、点検を依頼した。ドローンを使って点検が行われた後、「洗浄とコーティングが必要」と言われ、約40万円の契約を結んだ。後日、知人に相談すると「だまされているのではないか」と言われた。解約や返金はできるのか。

対処法・アドバイス

- 訪問販売や電話勧誘販売に該当する場合は、契約書面を受け取った日から8日以内であれば、クーリング・オフできることがあります。太陽光発電システムの点検をきっかけに、屋根工事など別契約を迫られるケースもあるため、注意しましょう。
- 太陽光発電システムを安全に利用するためにも定期的な点検は重要ですが、事業者から「点検が義務付けされた」と言われても安易に信用せず、販売店などに問い合わせましょう。
- 少しでも不審な点やトラブルが発生した場合は、すぐにお近くの消費生活センターや警察へ相談しましょう。

お問い合わせ

消費者ホットライン ☎ 188 久留米市消費生活センター ☎ 0942-30-7700 福岡県警察 ☎ 110 または # 9110

広川文芸

ひろかわ俳句会



旧友の変わらぬ笑顔暮の秋
湯たんぽやいすに腰かけひざの上
いち早く夫が陣取る日なたぼこ
住む里はしんとして冬に入る
みほとけの胎の階段冬ぬくし
秋うらら写真の整理若き父母
合わす手に白息かけて辻地藏
初釜や帰りて帯をゆくり解く
季外れにミヤマキリシマ咲き誇る
舞う落ち葉踏みつつ歩道暮れかかる
狐鳴き震えて泣いた幼き日

櫻の会

虫喰ひのまばらな葉では寒からに小枝に揺るる橘の実よ
秋深し夫とより添ひ見る宙にスーパームーン光のシャワー
モヤモヤのこの気持ちには諦めともしかしたら希望混じりぬ
ひととせの早きめぐりを霜月の寒き夕餉に夫と酒くむ
けさ晴るる耳納連山峰々は久方ぶりに紫紺色なり
とうに捨て錆びたフルート吹く少女夢の中ではわたしの名前
冬の鍋体の芯から温まる隠し味つけのにんにくやめて
師走には橙色が良く似合ふほらまたひとつ山裾の灯り

坂田 康治
溝田 幸
青木佳代子
酒井 司
原口あつ美
西村千佳子
水本 艶子
一瀬砂智子
原口 正信
結束 節子
渡辺 弘子

中倉 明美
瀧武美智子
一瀬砂智子
山崎美代子
小西 俊都
丸山 雪乃
広瀬 花恵
青木佳代子

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

広川町にある巨樹・珍樹 その17

スギ（スギ科）

植林で一般的によく知られる代表に、スギ（杉）やヒノキ（桧）がありますが、自生のものでなく、特別な場所に植えられたものは極めて少ないです。その一例として、梯区の鎮守社である太神社の境内には、スギが5本あります。

樹高 約30メートル

幹周 1・20メートル

1・25メートル

1・40メートル

1・50メートル

2・00メートル

を測ります。昭和の御大典（昭和3年11月10日）など、何かの記念に植栽されたと考えられ、樹齢は90年ほどを推定できます。

社殿の南東隅には、長径2・00メートル、短径が1・30メートルを測る、大杉の切り株が残っています。

平成3年9月27日に襲来した台風19号によって南側へ倒れ、県道三潞・上陽線を塞ぎ、一時交通が不可能となりました。切り株を調べると外側18センチメートルを残して、内部は空洞になっており、倒伏

前の幹周は、約4・00メートルはあったと推定できます。

タブノキ（クス科）

前述した太神社から南を見上げた頂上に、権現様の石祠があり、御神像（石造坐像）が安置されています。そのすぐ脇にタブノキが立っていて、御神木として信仰の対象になっています。

タブノキは線香の粘着剤として利用されますが、それ以外の利用はないようです。近隣では、旧上陽町の桑



▲スギ（梯区）



▲タブノキ（扇島区）

河内集落から耳納山へ超える峠に、首級塔と呼ばれる自然石を懷に抱いて守るかのような、大きなタブノキが聳えています。

峠に聳えていることには別の意味もあり、塞ノ神や猿田彦大神とも通じる塞ノ木（幸ノ木とも）と、認識されます。

広川町古墳資料館だより

今年は、石人山古墳が福岡県の指定を受けて100年目、石棺を守るように立つ武装石人が国の重要文化財に指定されて50年目となる区切りの年となります。1500

年前から永く守られてきた古墳と石人は、地域にとってかけがえのない文化財です。資料館ではその大切さを、あらためて再確認する1年にしたいと思います。



▲直弧文が彫刻された家形石棺



▲武装石人